

PRESS RELEASE

上質ないいものを創造する
山形の理想的ものづくりを
このマークで伝えていきます。



令和6年11月22日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業技術イノベーション課

山形県次世代自動車研究会セミナー 「新素材等の加工技術に関する勉強会（第1回）」の開催について

自動車産業は、車のCASE技術（つながる・自動化・シェアリング・電動化）の急速な進展や2050年カーボンニュートラルへの動きなど、大きな変革期を迎えており、新たな技術開発や部品製造が求められています。

このため県では、カーボンニュートラル等の観点からも注目される次世代自動車に活用される新素材等の加工技術について、素材別に解説する勉強会を開催します。

つきましては、当日の取材・報道について御協力くださいますようお願いいたします。

記

- 開催日時 令和6年11月28日（木）13時30分～16時00分
- 場 所 山形県高度技術研究開発センター（山形市松栄2-2-1）
- 内 容 「ハイテン材の適用動向、成形及び接合技術と今後の動向」
講師：東京理科大学創域理工学部 非常勤講師 千葉 晃司 氏
（元日産自動車㈱シニアエキスパート）
- 取材受付 会場での取材を希望される場合は、当日、会場受付にお越しくください。
- そ の 他 セミナーの詳細は、添付のチラシを御覧ください。

【問い合わせ先】

産業労働部産業技術イノベーション課次世代産業振興室
室長補佐 板垣 電話：023-630-2553

【報道監】

産業労働部 次長 奥山



新素材等の加工技術に関する勉強会

電気自動車の普及等に伴い、自動車関連産業には新たな技術や部品製造が求められています。

本セミナーでは、カーボンニュートラル等の観点からも注目される次世代自動車に活用される新素材等の加工技術について、素材別に解説します。

参加費
無料

内 容

期 日	会 場	内 容（※詳細裏面）
【第1回】 令和6年11月28日（木） 13時30分～16時00分	山形県高度技術研究開発センター （山形市松栄2-2-1）	ハイテン材の適用動向、成形及び 接合技術と今後の動向
【第2回】 令和7年1月16日（木） 13時30分～16時00分	オンライン （Web会議ツール「Zoom」） ※後日URL等をお知らせします。	アルミニウム材の基礎、適用動向、 設計及び接合技術と今後の動向
【第3回】 令和7年1月30日（木） 13時30分～16時00分	オンライン （Web会議ツール「Zoom」） ※後日URL等をお知らせします。	樹脂・CFRPの基礎、適用動向、設 計及び接合技術と今後の動向

講 師

東京理科大学創域理工学部 非常勤講師 千葉 晃司 氏
（元日産自動車株）シニアエキスパート）



対 象

自動車関連産業事業者、関係機関等（各回15名程度）

申込み

電子メールまたはFAXにて、各期日の10日前までにお申し込みください（裏面参照）。

※申込み多数の場合、後日調整させていただく場合があります。

【申込期限】第1回：11/18（月）まで

第2回：1/6（月）まで

第3回：1/20（月）まで

【申 込 先】電子メール：ysaninno@pref.yamagata.jp / FAX：023-630-2695

主 催 山形県

（お問合せ）

山形県産業労働部産業技術イノベーション課

TEL：023-630-2369

内容詳細

11月28日(木) (ハイテン材)	1月16日(木) (アルミニウム材)	1月30日(木) (樹脂・CFRP)
1. 適用動向 1.1 全体的な適用動向 1.2 欧州の適用動向 1.3 北米 1.4 国内 2. 適用考え方適用部位 2.1 ハイテン適用考え方 3. 材料 3.1 各種ハイテン材 4. 成形性 4.1 成形性 4.2 成形解析 5. 接合 5.1 スポット溶接 5.2 レーザ溶接 5.3 アーク溶接 5.4 スポット溶接 5.5 スポット溶接解析 6. 今後 6.1 高伸び1.2G 材の適用 6.2 革新鋼板の適用	1. アルミニウムの基礎 1.1 アルミニウムの作り方 1.2 アルミニウム合金 1.3 アルミニウム合金の適用状況 1.4 技術課題 2. アルミニウム展伸材の適用設計 2.1 車体用アルミニウム材料 2.2 アルミニウムの特徴、適用部位 2.3 基本的な考え方 2.4 各部品の設計 3. アルミニウム鋳物設計 3.1 車体用アルミニウム鋳物材料 3.2 アルミニウム鋳物材料特性評価 3.3 形状設計、リブ配置 3.4 接合強度、接合構造 3.5 適用部品検討 4. 接合技術 4.1 スポット溶接 4.2 アーク溶接 4.3 FSW 4.4 レーザ溶接 5. アルミニウム鍛造 5.1 鍛造・鋳造・ダクタイルとの比較 5.2 鍛造機械 5.3 後処理について 5.4 スパニオンリンクの事例紹介 6. 今後 6.1 革新アルミニウム 6.2 ギガキャスト	1. 樹脂の適用動向 2. 車体用樹脂材料 2.1 材料種類 2.2 各材料の特徴 2.3 各材料の適用考え方 3. 部品設計 3.1 基本的形状設計 3.2 外板 3.3 内板 4. 接合 4.1 接着 4.2 レーザ溶接 5. CFRP化の考え方 6. 材料構成の考え方 7. 加工の積層と材料物性の考え方 8. CFRPの板厚の決定 9. 鋼板車体での補強材考え方 10. 板厚と積層パターン 11. 適用事例 11.1 R34GTRのHOODとルーフ 12. 接合、接着 13. CFRP成形技術 14. 今後 14.1 リサイクル、革新炭素繊維について

新素材等の加工技術に関する勉強会 参加申込書

送信先 山形県産業労働部産業技術イノベーション課 FAX 023-630-2695

[] 第1回(11/28) [] 第2回(1/16) [] 第3回(1/30)

※申込期日に「○」をつけてください。

		所属	役職	氏名
参加者	1			
	2			
	3			
企業・団体名				
連絡担当者 所属・氏名				
所在地				
電話番号		E-mail		